

有終の美

3月12日、三小と瑞中を繋ぐ通称「学校通り」付近で爽やかな若い人たちの声が聞こえるのでそっと表へ出てみました。なんと瑞中の生徒たちが手に手に指定袋を持って通学路のごみを拾っていたのです。

早速担任の清水先生にお伺いいたしますと、この度卒業を迎える三年生が小中学校に通学した9年間、地域や住民の皆さんには特にお世話になったので、旅立ちの日を前に地域へのお礼や社会貢献をせひしたいという気持ちから、何をどのような形で行うのが良いか、先生方に助言をいただきながら三年生全員で案を出し合い、その結果今日の清掃作業となり、それぞれの出身小学校単位に地区を歩いているとのことでした。一つひとつごみを拾いながらここまで来て、すでに袋の中には「心無いポイ捨てのごみ」がいっぱい入っていました。これから学校に持ち帰り、分別の作業を行うとのことでした。

学校、地域への感謝を心に卒業生が「有終の美」を飾る姿は実に純真無垢です。おかげで辺りが清々しくなりました。袋を提げて遠ざかる卒業生の後ろ姿に「こちらこそ本当にありがとう」と胸に熱いものを感じました。

石川 朝子



言葉に思う

コンビニで支払いを待っていた。前の若い客に店員さんが「弁当温めますか」、若い客は「全然大丈夫です」、それでレンジでチン。代金払う。1万円札出したら「1万円からでよろしかったでしょうか」何か変な会話と感じた。

次の日病院でのこと。看護師さんが「採血してきてもらっていいですか」ときた。

最近の若い人の言葉はついていけないものがある。「マジっすか」「ハンパない」なんでも縮めて言うそう。だ。「ヤバイ」もよく聞く。本来物事がうまくいかなかった時に使うのでは。特にテレビで若い人だけでなく年配の人でも日常的に使っている。(うまい・うれしい・きれい)等々、何のことかと思う。

3歳の孫も覚えてしまった。これが日本語として定着していくのだろうか。思えばパパ・ママは今も当たり前に使っているが、いつ頃から普通になったのか。せめて、おもてなしの心と「アリガトウ」、「オハヨウ」、「サヨウナラ」、「お元気でネ」などきれいな日本語が残るように。

山口 忠



廃品回収

子ども会にとって欠かせない恒例行事として行われてきた廃品回収。大雪による延期を経て、2月22日に実施されました。廃品回収は子どもたちの社会に奉仕する心と物を大切にすることを養うとともに、ごみの減量化を図ることを目的としていますが、業者さんからの対価に加え、町からの補助金も合わせると大きな金額となり、子ども会運用資金の財源の柱です。私が子どもの時は、軽トラックの荷台に乗ることも、出された漫画をこっそり読みあさるのも廃品回収の醍醐味で、廃品回収は楽しみでした(現在は、子どもが荷台に乗るのは厳禁となっています)。

西砂町は、他の町内会と比較するとかなり広域にわたるので、半日掛かりでの作業となります。今年は6年生の人数が少なく、町内会長、役員の方のご協力のもと何とか無事全4回の廃品回収を終えました。

廃品を提供して下さるお宅への感謝の気持ちを持って「おはようございます」、「ありがとうございます」と挨拶しながら回ることで、町内会の皆さまとの交流の大切さが子どもたちに伝わり、低学年の子どもたちにもそれが継承されていくことを期待します。

少子化の昨今、子ども会の会員も減少する一方ですが、子どもたちにとっての交流、学びの場として子ども会が継続されたいことを願いながら。

ご協力いただいた皆さまに、この場を借りてお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

阿部 知美

春の訪れ

雪に悩まされた冬の終わりでしたが、春はあっという間に訪れました。梅の花が咲き、桜が咲き、カタクリ、コブシ、モクレン、山に入ればヤマブキ、ミツバツツジと色とりどりに咲き乱れます。この時期は野辺も芽吹きフキノトウから始まり、ツクシ、カンゾウ、ノビル、サンショウ、セリ、ミツバ、ゼンマイ、ワラビ等、花見をしながら採るのが何よりの楽しみです。酢みそにしたり、和え物にしたり、つくだ煮にしたり、野草を手間暇かけて食するのもこの時期ならではの楽しみです。香りも強く、一年中食することもできます。日ごとに山は緑が深くなり、鳥のさえずりにもぎやかになり、その中での昼食は最高!おにぎり、お茶、手作りの一品をそれぞれ持ち寄り、にぎやかな「どこでもレストラン」の始まりです。

空気もおいしいし、身体にも良いし、スーパーに行けば何でもそろそろ今ですが、身体が動けるうちはこのような生活も良いのではと思い、3月~6月の間は「不自由も又楽し」と友人と暇な日を見つけては心はずませ野山に出かけ一日をフルに楽しんでおります。

岩田 美智子



こちら編集室

はじめまして、4月から新しく広報の担当に加わりました。

今までのヘルメットを片手に工事現場へ向かう日々から、カメラを片手に皆さまの笑顔を納める日々が変わって、はや1カ月。不慣れな仕事も係の仲間へ支えてもらい、取材も編集作業も、毎日少しずつ一歩ずつ進んでいます。

これから、町にあふれる魅力を精一杯お届けできるような広報紙、ホームページを作り、皆さまの元気と笑顔がいっぱいにあふれたらうれしいです。その笑顔を『広報みずほ』に飾らせてください。よろしくお願いいたします。

岩田

町ホームページの「まちがどレポート」もご覧ください

【今月のホームページ掲載記事】

「あれから三年」
「大滝詠一さん」
「さくらまつり」

情報倶楽部 町内で活動している団体・サークルの情報提供 会員募集

水泳教室

★温水プールで楽しく泳ごう。初心者歓迎。
団体名 ワイワイひまわりクラブ
日時 毎週火曜日
午前9時~11時
場所 羽村市スイミングセンター
対象 どなたでも
費用 年会費 1,200円
月会費 3,000円
問合せ 鈴木 ☎556-3455

水泳教室

★初心者歓迎。男女問わず。
団体名 ワイワイナイタークラブ
日時 毎週火曜日
午後7時~9時
場所 羽村市スイミングセンター
対象 18歳以上
費用 入会金 1,000円
月会費 3,000円
問合せ 久保田 ☎090-2752-9126

英会話

団体名 English Club
日時 毎週火曜日(月4回)
午後1時30分~3時
場所 武蔵野コミュニティセンター
対象 どなたでも
費用 月会費 3,500円
持ち物 筆記用具
問合せ 諏訪 ☎090-1764-5960



平成26年度 情報特派員

まちがどレポートの取材や投稿など、町の情報を伝えていただきます。

氏名
青木 和子
阿部 知美
石川 朝子
岩田 美智子
川口 尊
久保 好子
小暮 彰
小南 良紀
山口 忠
吉積 愛菜

(敬称略)